◉製品仕様書

■この仕様値は、ＪＩＳ　Ｃ　９２２０：２０１８に基づいた数値です。

システム	形式		ＣＨＰ－ＸＥ４６ＡＺ２
	適用電力制度		時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）
	相数　定格電圧　定格周波数		単相　２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	最大電流		１７Ａ
	沸上げ温度範囲		約６５℃～約９０℃
	年間給湯保温効率（ＪＩＳ）※1※2		３．７
	寒冷地年間給湯保温効率（ＪＩＳ）※1※2※3		――
	WEBプログラムへのＪＩＳ効率入力値　※4		３．７
	区分名（２０２５年目標年度省エネ基準）		Ｅ
	電源線配線径		３．５mm²（φ２．０）×２芯
	専用ブレーカ容量		２０Ａ
	リモコン線最大延長		３０ｍ（０．３mm²）
	給水器具認証番号		９－Ｇ２－ＴＧ－１１０
貯湯ユニット	形式		ＣＴＵ－ＸＥ４６ＡＺ２
	種類		屋外形
	タンク容量		４６０Ｌ（1缶）
	缶体材質		ＳＵＳ
	水側最高使用圧力		３４５ｋＰａ（減圧弁設定圧：３００ｋＰａ）
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		1850×700×795（脚高さ180）［mm］
	質量（製品質量／満水時質量）		７１ｋｇ／５３１ｋｇ
	消費電力	ふろ保温	６５Ｗ：循環ポンプ
		凍結防止ヒータ	――
		制御用	２Ｗ　※5
	設置可能最低外気温度		－１０℃
ヒートポンプユニット	形式		ＣＨＰ－ＤＺ６０２
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		650×820［カバー部+80］×300［mm］
	質量		５０ｋｇ
	中間期標準加熱能力／消費電力　※6※7		６．０ｋＷ／１．３２５ｋＷ
	中間期標準運転電流　※7		７．２Ａ
	中間期標準エネルギー消費効率		４．５
	冬期高温加熱能力／消費電力　※6※8※9		６．０ｋＷ／２．０００ｋＷ
	寒冷地冬期高温加熱能力　※3※6※9		――
	ヒートポンプ運転音（音響パワーレベル）※10（中間期 ※7／冬期 ※8）		５５ｄＢ／５８ｄＢ
	冷媒名及び封入量		CO_2　０．７２５ｋｇ
	設計圧力（高圧／低圧）		１４．０ＭＰａ／８．５ＭＰａ
	設置可能最低外気温度		－１０℃

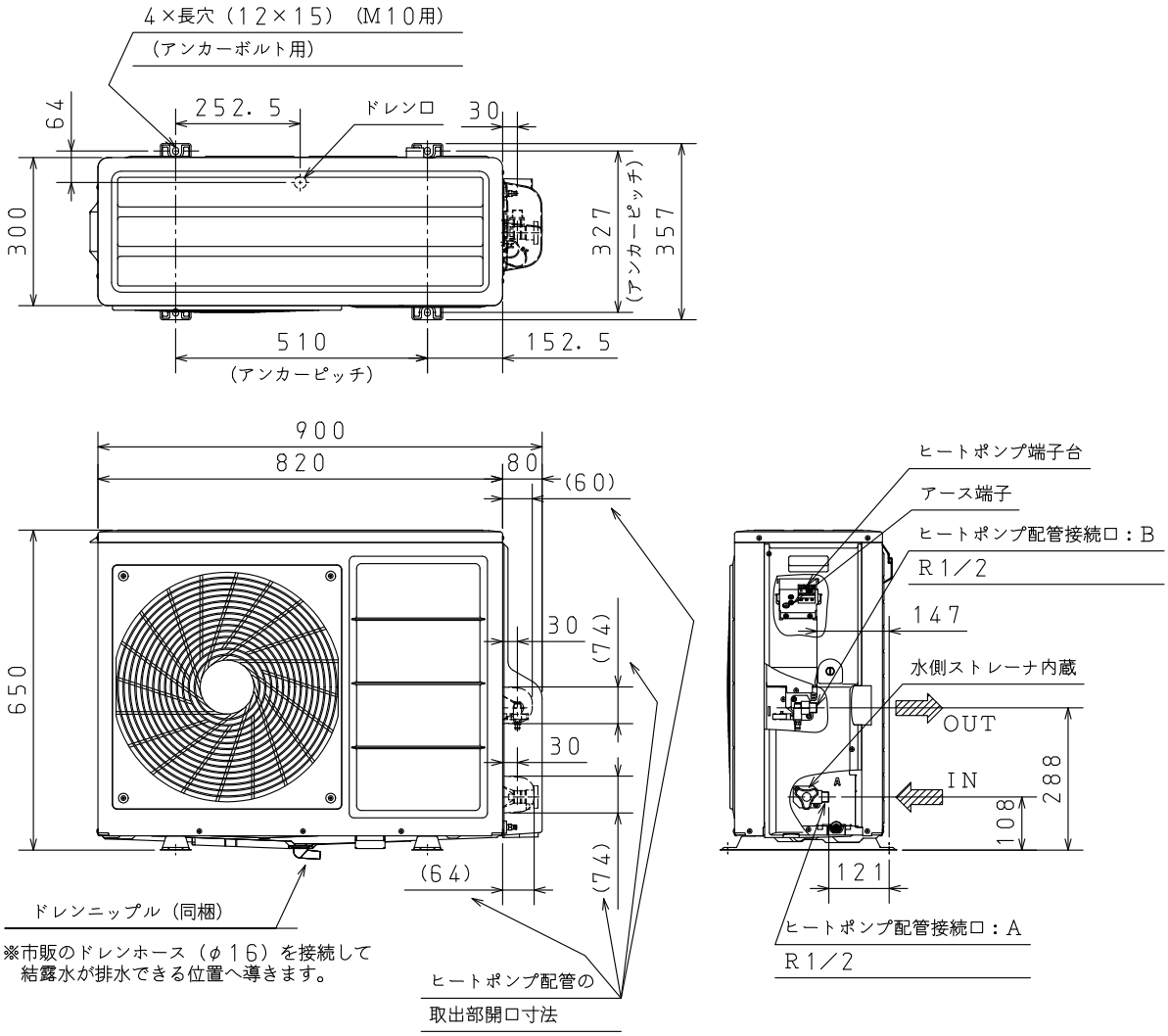
無線ＬＡＮ対応インターホンリモコン	リモコンセット形式		ＲＢＰ－ＧＡＤＷ２（Ｓ）
	台所リモコン形式		ＲＭＰ－ＧＡＤＷ２
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		１２０×１４８×１８［mm］
	浴室リモコン形式		ＲＢＰ－ＧＡＤ１
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		１２０×２００×２０［mm］
	通信ネットワーク		無線ＬＡＮ　※11（IEEE802．11b／g／n規格準拠）
	ＨＥＭＳ　規格		ＥＣＨＯＮＥＴ　Ｌｉｔｅ
	ＨＥＭＳ　規格バージョン		Ｒｅｌｅａｓｅ　Ｉ
	ＨＥＭＳ　ＡＩＦ認証登録番号		ＬＺ－０００４７９
別売品	増設リモコン形式　※12		ＲＳＰ－ＧＡ２
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		１２０×１４８×１８［mm］
その他の機能・制約	非常用取水栓		貯湯ユニットに取水栓あり
	ユニット間配管凍結防止		バイパス循環三方弁による凍結予防運転
	基準浴槽　※13		有効水量１８０Ｌ～２２０Ｌ（満水容積３４０Ｌ以下の浴槽）
	漏水検知		――
	海岸線からの離隔	貯湯ユニット	塩害地　不可
		ヒートポンプユニット	塩害地　不可
	階下給湯		可（詳細条件は共用図ｐ．２参照）

※１　年間給湯保温効率（ＪＩＳ）は、ＪＩＳ　Ｃ　９２２０に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率（ＪＩＳ）とし、以下の式で求められます。
　年間給湯保温効率（ＪＩＳ）＝１年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷１年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
※２　年間給湯保温効率（ＪＩＳ）算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２℃／１℃、水温５℃、沸上げ温度９０℃
冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度６５℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度６５℃
夜間消費電力量比率（ＪＩＳ　Ｃ　９２２０　冬期給湯保温モード条件時）：８０％
※３　寒冷地冬期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）－７℃／－８℃、水温５℃、沸上げ温度９０℃
※４　「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）」へのＪＩＳ効率の入力値は仕様表内「ＷＥＢプログラムへのＪＩＳ効率入力値」欄に記載されている数値を使用してください。また、「昼間沸上げ」の入力項目では「評価しない、または昼間沸上げ形ではない」を選択してください。
※５　低外気温時は、５Ｗになります。
※６　沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※７　中間期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）１６℃／１２℃、水温１７℃、沸上げ温度６５℃
※８　冬期高温加熱条件　：外気温（乾球温度／湿球温度）　７℃／　６℃、水温　９℃、沸上げ温度９０℃
※９　低外気温時は、加熱能力が低下することがあります。
※１０　ヒートポンプ運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※１１　使用する周波数範囲は２．４ＧＨｚ帯です。
※１２　ふろ洗浄連動機能用の通信変換ユニット（別売品）との併用はできません。
※１３　有効水量が２２０Ｌを超える浴槽やタイル貼りの特殊浴槽では、追いだきができないことがあります。

名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	ＣＨＰ－ＸＥ４６ＡＺ２	
作成日	２０２６．０４．２３	版　数	２	株式会社 コロナ	納入仕様図面	１
尺　度	Ｆｒｅｅ	単　位	ｍｍ			

ヒートポンプユニット外形寸法図

ヒートポンプユニット形式		CHP−DZ602
外装色		DIC G−258相当 マンセルNo. 5GY8.5／0.5<近似>
凍結予防機能	ヒートポンプ配管	バイパス循環三方弁による凍結予防運転
	ドレンパンヒータ	――

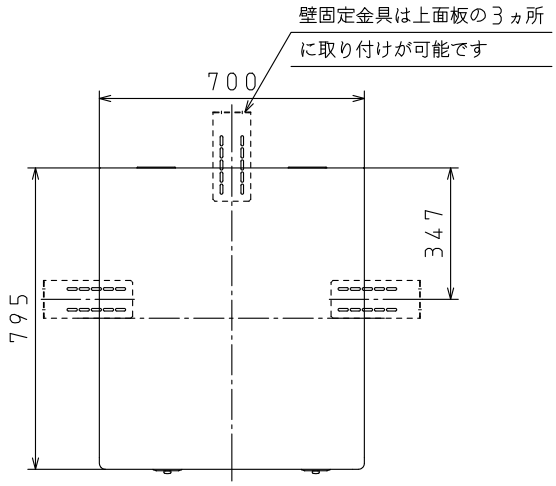


名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	CHP−XE46AZ2		
作成日	2026.04.23	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面		2
尺　度	1:15	単　位	mm				

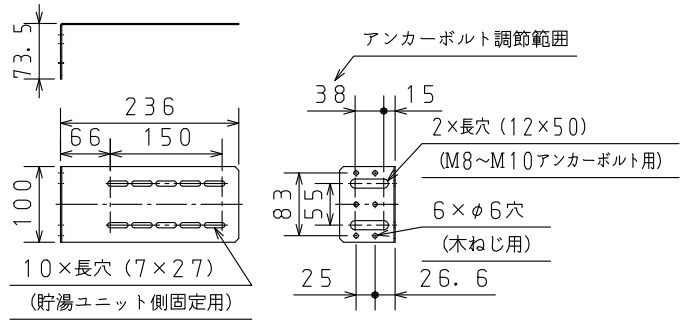
●貯湯ユニット外形寸法図

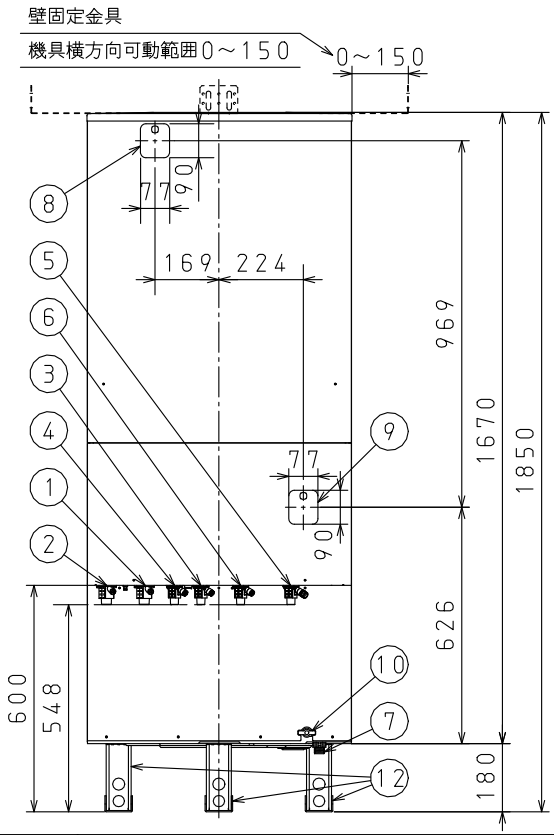
貯湯ユニット形式	CTU−XE46AZ2
外装色	DIC G−258相当 マンセルNo. 5GY8.5／0.5<近似>

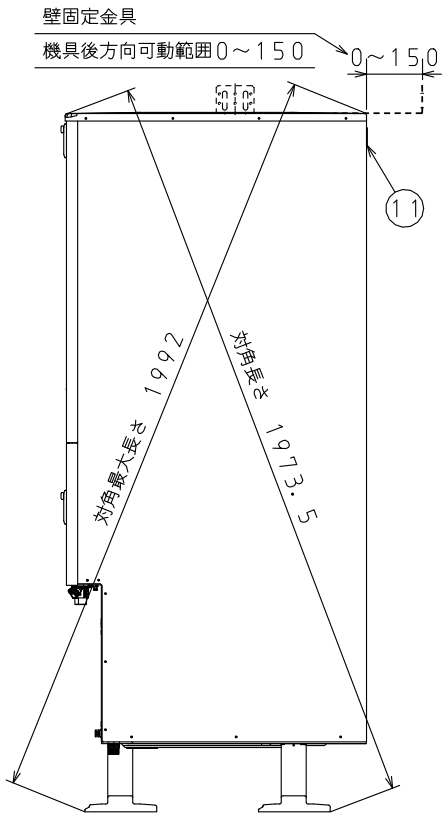
番号	名称	仕様
①	給水接続口	R3／4 PPS
②	給湯接続口	R3／4 PPS
③	ふろ配管接続口（往き）	R1／2 PPS
④	ふろ配管接続口（戻り）	R1／2 PPS
⑤	ヒートポンプ配管接続口（A）	R1／2 PPS
⑥	ヒートポンプ配管接続口（B）	R1／2 PPS
⑦	排水口	R3／4 PPS 間接排水とすること
⑧	逃し弁操作カバー	AES
⑨	漏電しゃ断器操作カバー	AES
⑩	排水栓	PPE（ハンドル）
⑪	とって	AES 背面2ヵ所
⑫	脚	溶融Zn−Al−Mg 合金めっき鋼板
外装部品	上面板、前扉上、前扉下 側板右、側板左、後板	プレコート鋼板 （上面板を除き耐汚染性塗装鋼板を使用）
	仕切板	溶融亜鉛めっき鋼板
	ベース、接続口取付金具	ガルバリウム鋼板
	ねじ	SUS410+めっき



壁固定金具（別売品） 外形寸法図 （S＝1：10）





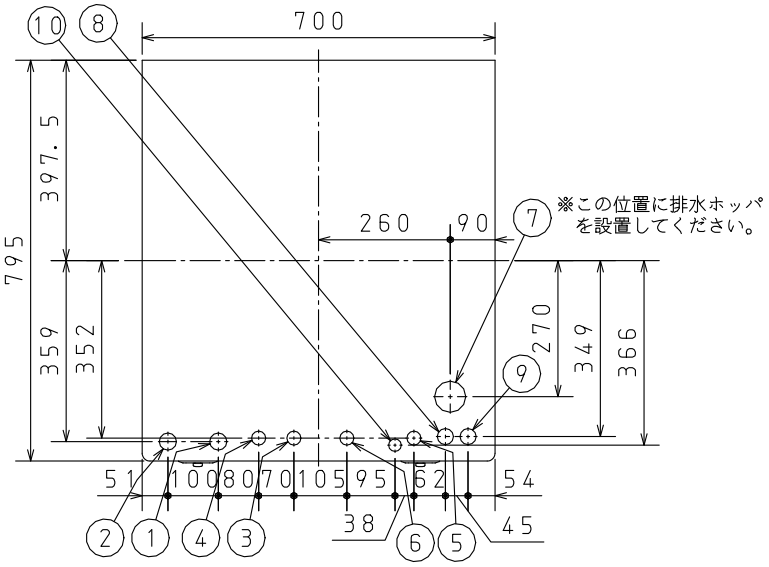


名称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型式名	CHP−XE46AZ2		
作成日	2026.04.23	版数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面		3
尺度	1:20	単位	mm				

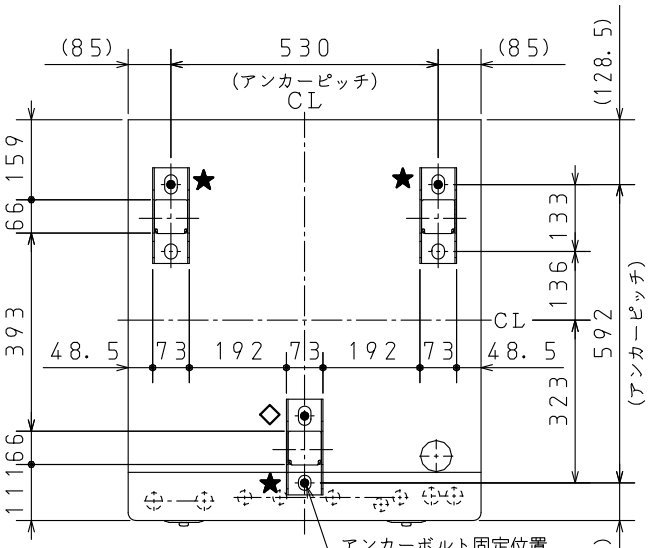
●貯湯ユニット据付関係寸法図

番号	名　称	仕　様
①	給水配管	
②	給湯配管	
③	ふろ配管（往き）	
④	ふろ配管（戻り）	
⑤	ヒートポンプ配管（A）	
⑥	ヒートポンプ配管（B）	
⑦	排水口	
⑧	２００Ｖ電源線取入口	φ３２穴
⑨	ヒートポンプ電源線取入口	φ３２穴
⑩	リモコン線取入口	φ２５穴

配線・配管立上げ位置図



アンカーボルト固定位置図



本数	固定位置
３本の場合	★印のみ
４本の場合	★印＋◇印

＜アンカーボルト仕様と本数＞

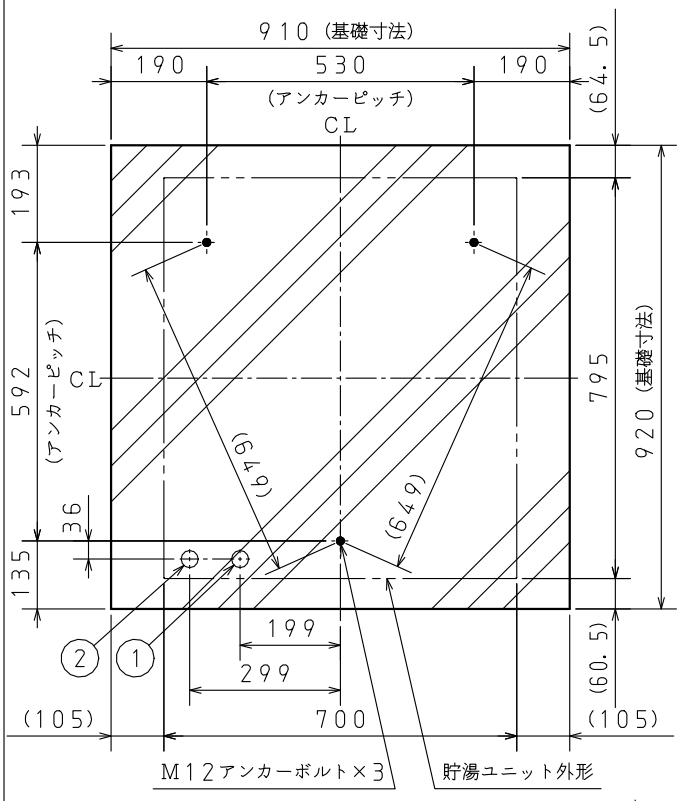
●貯湯ユニットの据付けは「建築設備耐震設計・施工指針」（一般財団法人日本建築センター）および「建築基準法施行令第１２９条の２の４第２号の規定に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成２４年国土交通省告示第１４４７号）」に従って確実に行ってください。

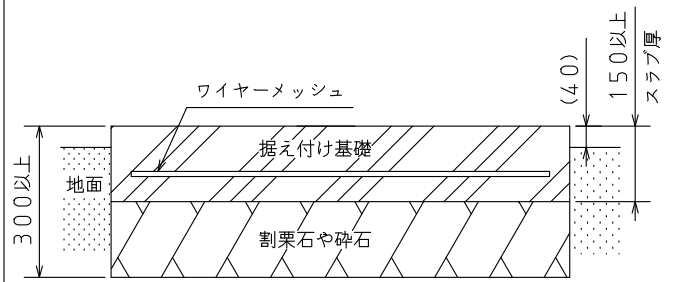
●下記のアンカーボルト条件は、上記の施工指針および告示に対応しています。

据付場所	壁固定金具	アンカーボルト	呼び径	1本あたりの引張耐力	ドリル径（mm）	有効埋込み深さ（mm）	固定数
地上階	なし／あり	おネジ式アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60	3本以上
2階以上	なし	接着系アンカーボルト	M16	12.0kN以上	φ20	110	4本
	あり	おネジ式アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60	3本以上

●規定より細いアンカーボルトを使用して据え付けた場合、地震などにより転倒するおそれがあります。

基礎寸法の参考図（地上階設置・独立基礎の場合）





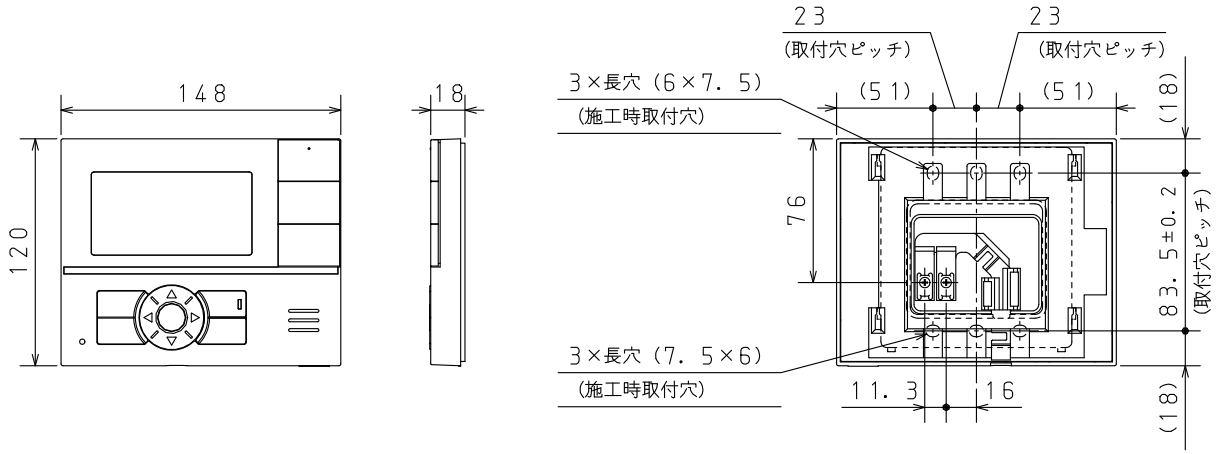
名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機	型　式　名	CHP－XE46AZ2
作成日	2026.04.23	版　数	1
尺　度	1：15	単　位	mm

株式会社 コロナ　**納入仕様図面**　4

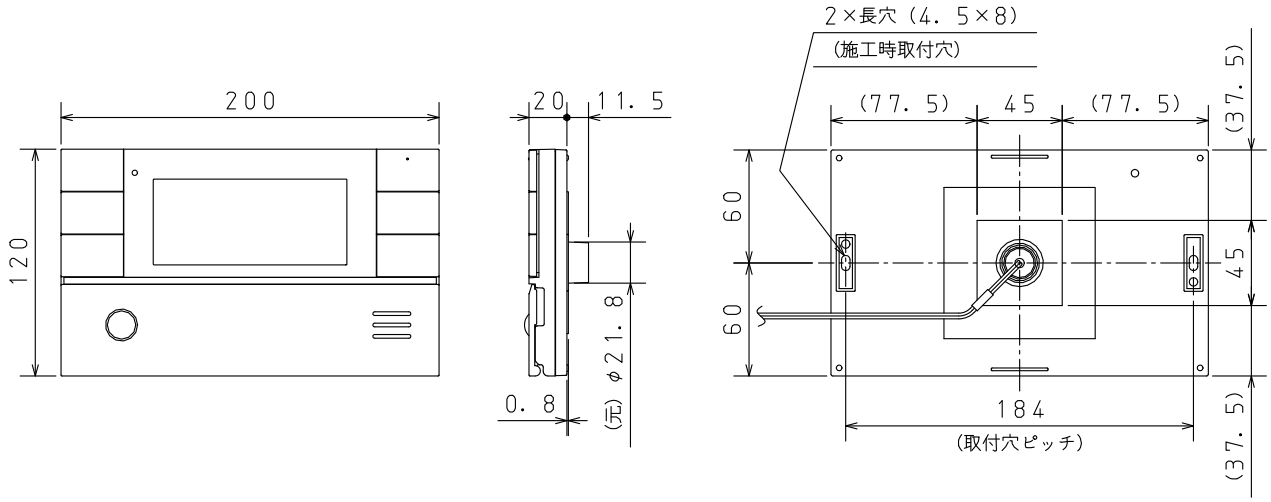
リモコン外形寸法図

区分	無線ＬＡＮ対応インターホンリモコン		別売品
リモコンセット形式	ＲＢＰ－ＧＡＤＷ２（Ｓ）		——
リモコン名称	台所リモコン	浴室リモコン	増設リモコン
形式	ＲＭＰ－ＧＡＤＷ２	ＲＢＰ－ＧＡＤ１	ＲＳＰ－ＧＡ２
色相	ホワイト		ホワイト

台所リモコン・増設リモコン



浴室リモコン



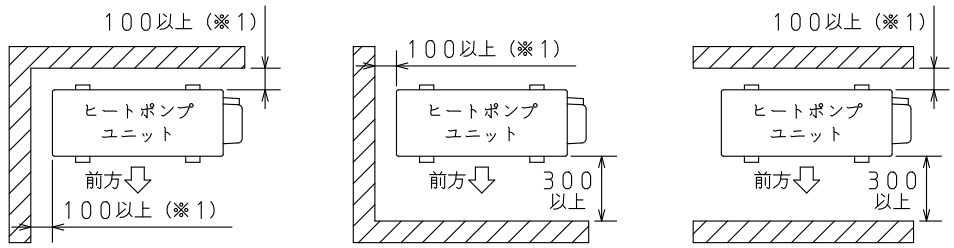
名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	CHP－XE46AZ2		
作成日	2026．04．23	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面	5	
尺　度	1：4	単　位	mm				

●ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの据付制約

ヒートポンプユニット単体の据付制約

＜床置据付の制約＞

●ヒートポンプユニットの上方向は風の流れを妨げないようにしてください。
●ヒートポンプユニット周辺に1方向しか障害物が無い場合でも、下記寸法に準じて設置してください。



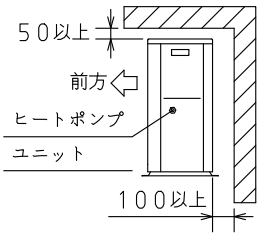
※1　防雪カバーを取り付ける場合は120mm以上必要です。また、運転音低減のため120mm以上確保することをおすすめします。（ヒートポンプユニット形式に”DZ”や”DHZ”が付く場合は、いずれも110mm以上）

＜3方向以上に障害物がある場合＞

●ヒートポンプユニットの周囲3方向以上に壁などの障害物がある場合は、設置不可です。

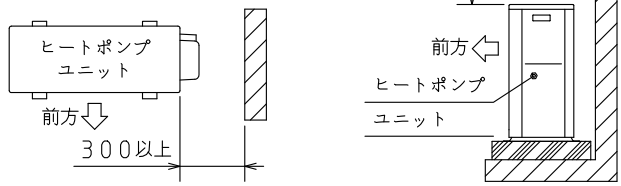
＜吊下据付の制約＞

●ヒートポンプユニット形式に”DZ”や”DHZ”が付く場合は、ヒートポンプユニットの吊下据付が可能です。
●背面を壁側にしてください。また、下方向は風の流れを妨げないようにしてください。

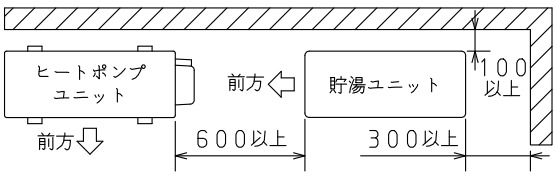


メンテナンススペースに関わる据付制約

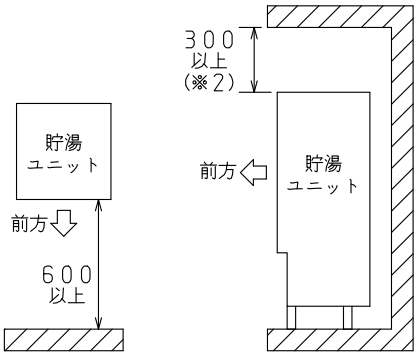
●ヒートポンプユニットの右側面と上方には300mm以上のメンテナンススペースを確保してください。



〖2缶式のみ〗



●〖1缶式の場合〗貯湯ユニットの前方には600mm以上、上方には300mm以上のメンテナンススペースを確保してください。
●〖2缶式の場合〗貯湯ユニットの前方には600mm以上、後方には300mm以上、背面側には100mm以上、上方には200mm以上のメンテナンススペースを確保してください。



※2　2缶式の場合は、200mm以上確保。

●ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至る原因となります。
●機器の近くにガス類の容器や引火物を置かない
発火の原因となります。
●据え付けは、重量に充分耐える所に確実に行う
本体の転倒や落下により、けがをする原因となります。
●機器を浴室など湿気の多い所に据え付けない
漏電による火災・感電の原因となります。
●井戸水、地下水、温泉水は使用しない（水質基準に適合した水を使用する）
塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では、腐食による水漏れや配管詰まりによる故障の原因になることがあります。
●雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような所に据え付けない
漏電による火災や感電の原因になることがあります。
●動植物に直接風が当たる所に据え付けない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
●次の場所には据え付けない
・〖一般地向けの場合〗最低気温が－10℃を下回る地域
（冬期の最低気温が－10℃を下回る地域では、機器の性能が十分発揮できないことがあります。）
・〖寒冷地向けの場合〗最低気温が－25℃を下回る地域
（最低気温が－20℃を下回る地域は必ず「エマージェンシーストップ機能付き」の機種を選択し、貯湯ユニットを屋内に設置してください。）
・塩害のおそれのある海岸付近（〖耐塩害・耐重塩害仕様の場合〗海浜地区で塩分を含んだ水が直接当たる場所）や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等

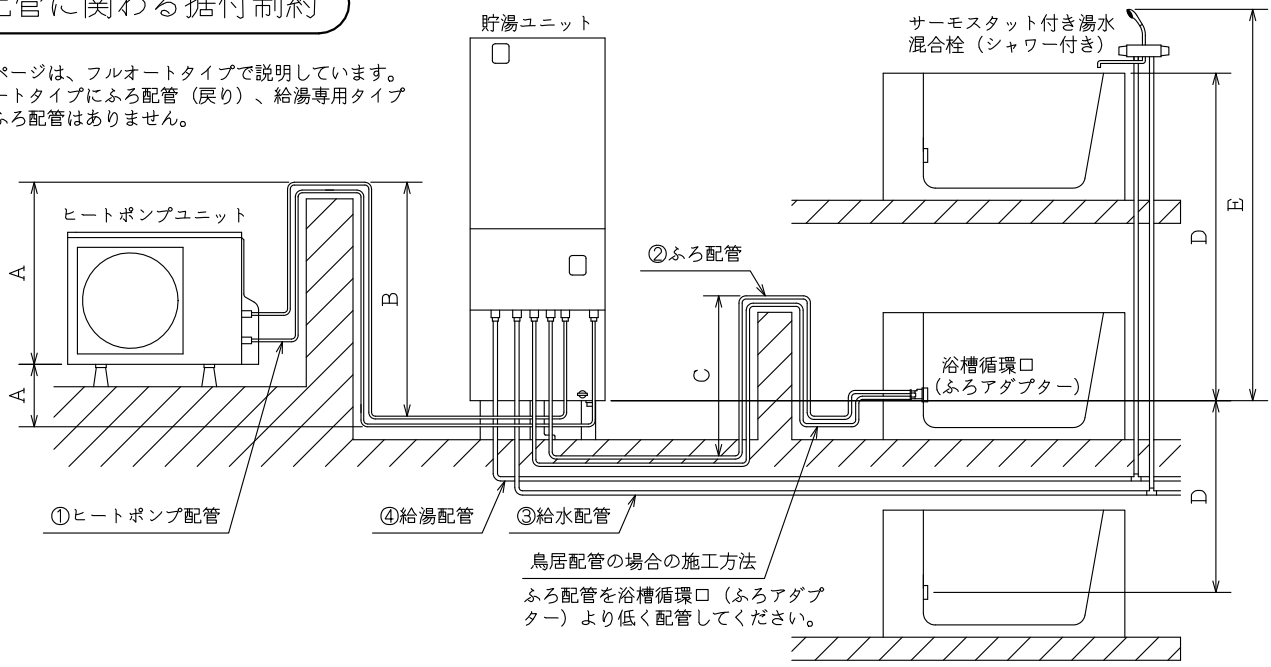
●お客様に引き渡すまでの間は電源を入れたままにしておく
電源を入れたままにできない場合、冬期など凍結のおそれがあるときは、貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの排水を行ってください。（貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの水抜き栓からの水抜きも確実に行ってください。）
●貯湯ユニットを設置する床面は防水・排水工事を行う
屋内に設置する場合は、防水提（高さ100mm以上）の施工をしてください。

＜耐塩害・耐重塩害仕様について＞
耐塩害仕様・耐重塩害仕様は腐食に対して処理をしていますが、万全ではありません。そのため、次のような据付と保守を行ってください。
●海水および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所に設置してください。
●外装部品に付着した塩分が、雨水によって十分洗浄されるような場所に設置してください。
●水はけの良い場所に設置してください。
●海岸地域への据付品については、付着した塩分を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●機器の状態を定期的に点検し、必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。

名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	2026年モデル共用図		
作成日	2026. 02. 25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面		1
尺　度	Free	単　位	mm				

◍配管に関わる据付制約

■本ページは、フルオートタイプで説明しています。
オートタイプにふろ配管（戻り）、給湯専用タイプにふろ配管はありません。



①ヒートポンプ配管

使用配管材	９５℃以上の耐熱性・耐食性を有するもの（銅管・耐熱性樹脂管など）
配管サイズ	銅管：φ１２．７ 耐熱性樹脂管：１０Ａ（当社カタログ掲載部材）※１
配管全長	片道　標準５ｍ、最大１５ｍまで　※２
曲がり箇所	片道５ヵ所以内
配管高さ（A）	ヒートポンプユニット底面より±３ｍ以内
鳥居落差（B）	３ｍ以内（１ヵ所のみ）
保温材厚み	１０ｍｍ以上（寒冷地向けは２０ｍｍ以上）

※１　耐熱性樹脂管を使用する場合は、当社カタログ掲載部材をご使用ください。
※２　最大配管長は１５ｍ（保温材ｔ１０。寒冷地向けはｔ２０）となります。配管が長くなると自然放熱により沸上がり温度が下がります。（１５ｍを超える場合はお問い合わせください。）

②ふろ配管

使用配管材		耐熱性・耐食性を有するもの（銅管・耐熱性樹脂管など）
配管サイズ		銅管：１５Ａ（１／２Ｂ）※３ 耐熱性樹脂管：１３Ａ　※４
配管全長		片道１５ｍ以内
曲がり箇所		片道１０ヵ所以内
鳥居落差（C）		３ｍ以内（浴槽が２階以上の場合は鳥居は不可）（１ヵ所のみ）
配管高さ（D）	高圧力パワフル給湯タイプの場合	階下は不可 貯湯ユニット底面から ・浴槽上端まで上方７ｍ以内 ・浴槽循環口（ふろアダプター）中央まで下方１．５ｍ以内
	高圧力タイプの場合	階下と３階以上は不可 貯湯ユニット底面から ・浴槽上端まで上方４ｍ以内 ・浴槽循環口（ふろアダプター）中央まで下方１．５ｍ以内
保温材厚み		１０ｍｍ以上（寒冷地向けは２０ｍｍ以上）

●ペアホースは放熱ロスが大きいため、使用は避けてください。
※３　銅管φ１２．７を使用する場合は、片道６ｍ以内、５曲がりまでとしてください。
※４　耐熱性樹脂管１０Ａを使用する場合は、片道６ｍまでとしてください。

③給水配管

使用配管材	耐食性を有するもの（銅管・樹脂管など）
配管サイズ	銅管：２０Ａ（３／４Ｂ） 樹脂管：１６Ａ
保温材厚み	１０ｍｍ以上（寒冷地向けは２０ｍｍ以上）

●給水圧力は〖高圧力パワフル給湯タイプの場合〗３００ｋＰａ以上、〖高圧力タイプの場合〗２００ｋＰａ以上で使用してください。
●給水圧力が５００ｋＰａを超える場合は、給水用減圧弁を設けてください。

④給湯配管

使用配管材		耐熱性・耐食性を有するもの（銅管・耐熱性樹脂管など）
配管サイズ		銅管：２０Ａ（３／４Ｂ） 耐熱性樹脂管：１６Ａ
配管高さ（E）	高圧力パワフル給湯タイプの場合	貯湯ユニット底面から湯水混合栓出湯口まで上方９ｍ以内 ※５
	高圧力タイプの場合	３階ではシャワー使用不可 （手洗い程度であれば使用可。洗髪洗面化粧台は使用不可）
階下給湯		貯湯ユニット上面から湯水混合栓出湯口まで下方５ｍ以内 （機種により対応可否が異なります。）　※６
保温材厚み		１０ｍｍ以上（寒冷地向けは２０ｍｍ以上）

●配管長が長くなると、お湯が出てくるまでに時間がかかります。
※５　３階へ給湯する場合、シャワーヘッドの種類によって流量が変動する場合があります。（３階にシャワーを設置する場合は、低水圧用シャワーヘッドの使用をおすすめします。）
※６・各機種の対応可否は「製品仕様書」のページを確認してください。
・給湯配管には必ず負圧弁付き空気抜き弁（別売品）、流量調整バルブ（市販品）を取り付けてください。

＜お願い＞
●耐熱性樹脂管および保温材は耐候性がありませんので、配管が屋外で露出する場合は、必ず耐候性テープを正しく巻いてください。
●ヒートポンプ配管には、フレキ管を使用しないでください。
フレキ管は、ふろ配管接続部の位置ずれの吸収のみに使用可能です。（片道３０ｃｍまで）ただし、エアがみや放熱ロスを防ぐため、できるだけ使用を避けてください。
●機器に接続する配管設備は、地震その他の振動または衝撃に対して安全上支障のないように設置してください。
●給水、給湯、ふろなどの配管および電気配線の壁貫通部は、シール材にて防水処理をしてください。

名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	２０２６年モデル共用図	
作成日	２０２６．０２．２５	版　数	１	株式会社 コロナ	納入仕様図面	２
尺　度	Ｆｒｅｅ	単　位	ｍｍ			

◍浴室リモコン取付位置

■本ページは、フルオートタイプのみが対象です。

＜取付場所の選定＞

●浴室リモコンには、浴室に入浴者が入ったことを検知する人感センサーが搭載されています。
・人感センサーが正しく検知するように、下図の「推奨例」を参考にして取り付けてください。
・下図の「入浴者を正しく検知しない例」のような位置に取り付けると、入浴者を正しく検知しない場合があります。

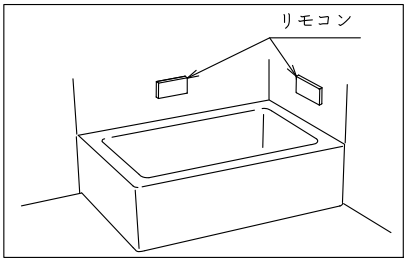
●取付位置は、浴室内のスイッチ操作がしやすく、表示が良く見える場所に取り付けてください。

●浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ温水や水がかかりにくい場所に取り付けてください。

●次の場所は避けて取り付けてください。
・鉄筋や柱が壁の中を通っているところ
・台所リモコンと同一の壁
・台所リモコンと接近するところ（ハウリングを起こす場合があります。）

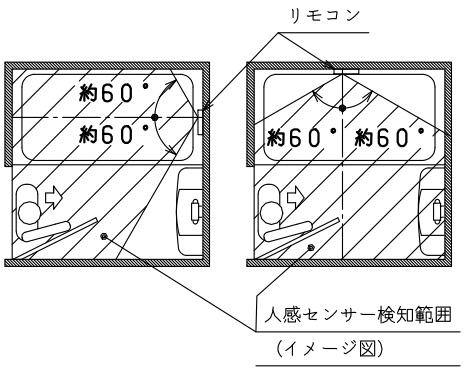
推奨例

●人感センサーを正しく動作させるには、浴室リモコンを下図のように、浴槽の短辺または長辺壁面の中央付近への取り付けを推奨します。
浴室リモコンの取付位置が中央付近から離れると、検知しない場合があります。



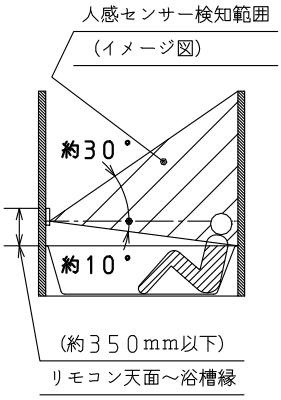
＜上から見た図（入室時）＞

＜浴槽の短辺側＞　＜浴槽の長辺側＞



＜正面から見た図（入浴時）＞

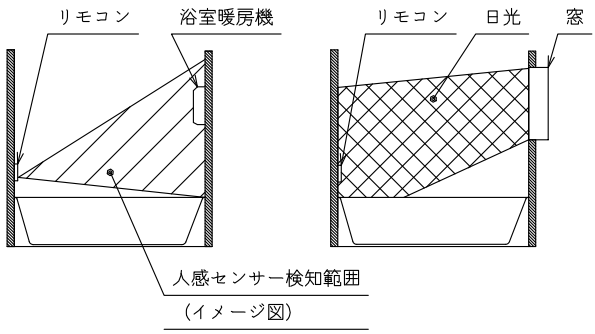
●浴室リモコンは目線の高さとなるように取り付けてください。



入浴者を正しく検知しない例

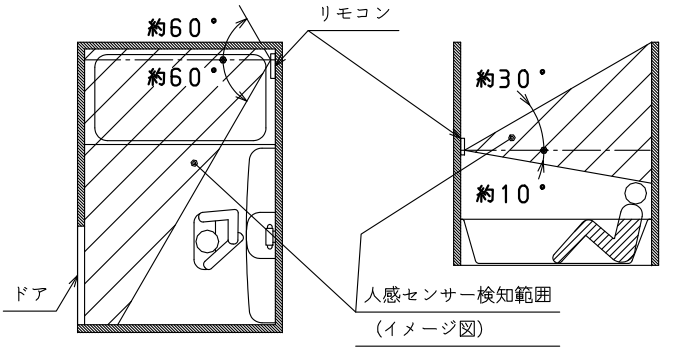
●人感センサー検知範囲に浴室暖房機などの発熱体がある場合や、窓が開いた状態でリモコンに直射日光が当たると、入浴者がいないのにいると誤検知する場合があります。

＜浴室暖房機が検知範囲に入る場合＞　＜直射日光が当たる場合＞



●浴室リモコンを広い浴室のすみや目線より高い位置に取り付けると、入浴者を検知しない場合があります。

＜広い浴室のすみに取り付けた場合＞　＜目線より高い位置に取り付けた場合＞



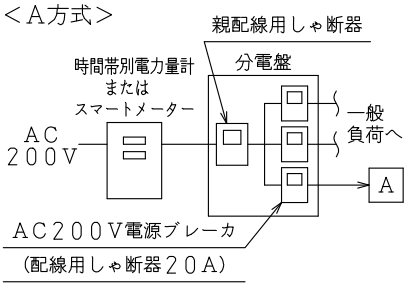
名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	2026年モデル共用図	
作成日	2026. 02. 25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面	3
尺　度	Free	単　位	mm			

◍電気工事

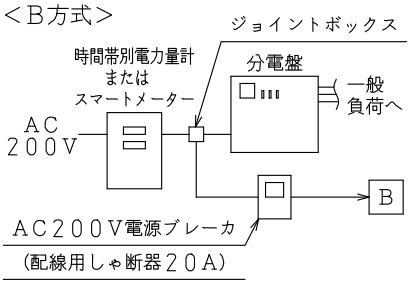
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因となります。
●アース工事（D種接地工事）を行う
アース線は、ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、漏電や故障のときに感電の原因となります。

引込み配線方式には、A方式とB方式があります。適合する配線方式は、地域の電力会社へ確認してください。（適合する配線方式は、電力会社、機器により異なる場合があります。）

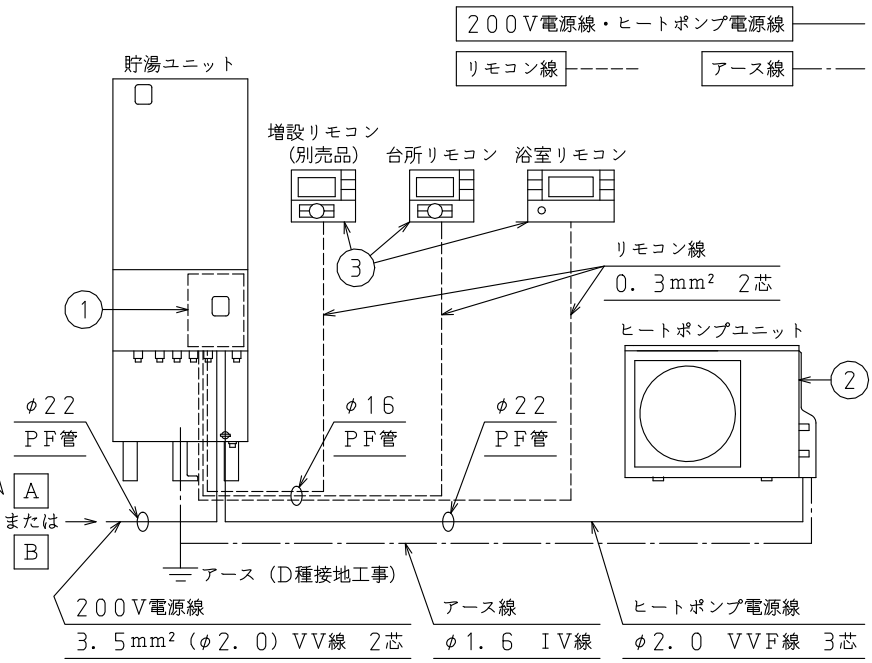
＜A方式＞



＜B方式＞

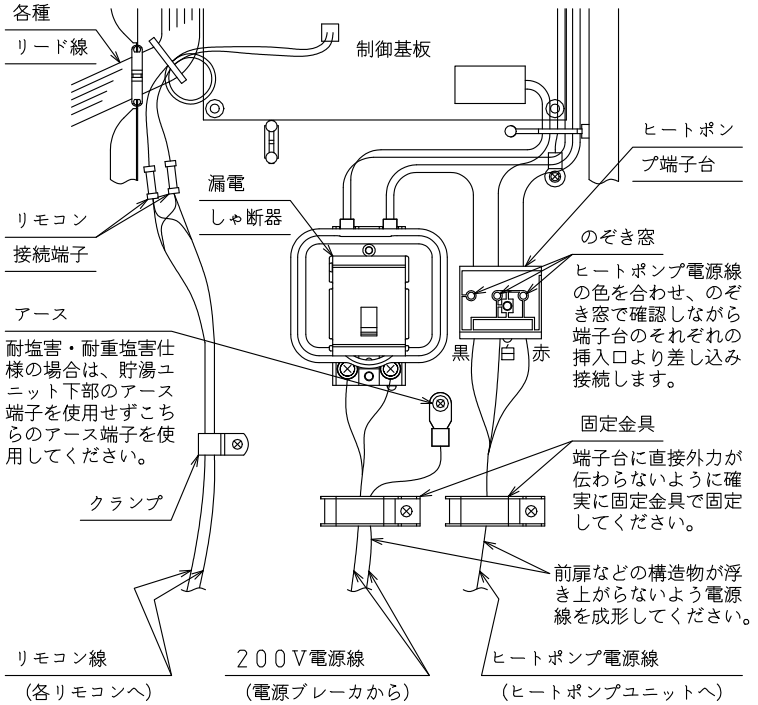


■図は、フルオートタイプで説明しています。
機種により接続可能なリモコンが異なります。



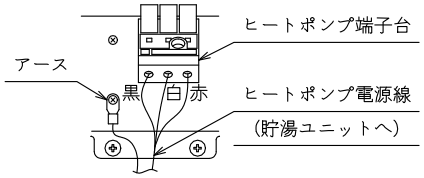
①貯湯ユニット　配線図

電源線の締付トルク	1．5N・m（15kgf・cm）



リモコン線には
極性はありません。

②ヒートポンプユニット　配線図

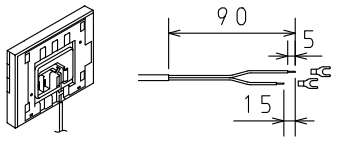


③リモコン取付工事

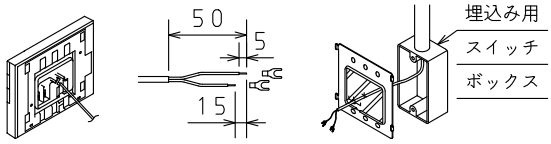
●ドアホン機器や電子レンジなどの電波を発する機器、テレビなどの電化製品の近くに取り付けないようにしてください。
上下左右20cm以上離してください。
（取付壁内部に金属がある場合は、十分離してください。）
●リモコン同士が近接するところや同一の壁は避けて取り付けてください。

＜リモコンコード被覆のむく長さ＞

＜壁面に取り付ける場合（露出配管）＞



＜スイッチボックスに取り付ける場合（埋込み配線）＞



名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	2026年モデル共用図		
作成日	2026．02．25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面		4
尺　度	Free	単　位	mm				

◍標準施工例

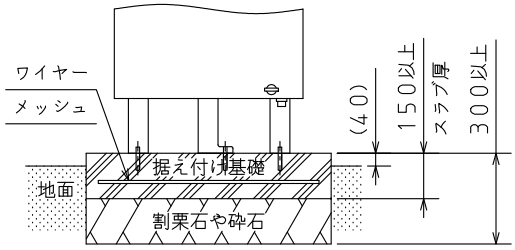
貯湯ユニットの基礎工事

●貯湯ユニット満水時の質量に十分耐える基礎工事をしてください。

コンクリート圧縮強度：18MPa（180kgf／cm²）以上

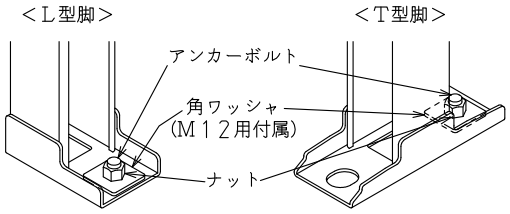
●床面は防水・排水工事を行ってください。
●機種により基礎寸法が異なるため、「貯湯ユニット据付関係寸法図」のページを確認してください。

■図は、1缶370Lタイプ地上階設置
＜独立基礎の場合＞で説明しています。



脚の固定方法

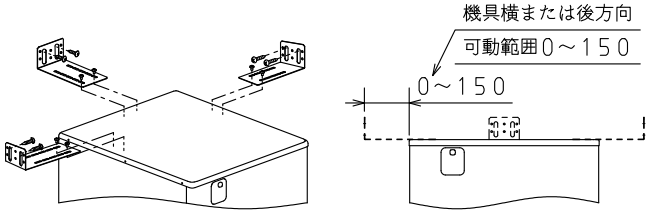
●貯湯ユニット脚部をアンカーボルトを使用して基礎の上に固定します。
必ず角ワッシャを使用して固定してください。
●機種や施工条件によりアンカーボルト固定位置が異なるため、「貯湯ユニット据付関係寸法図」のページを確認してください。



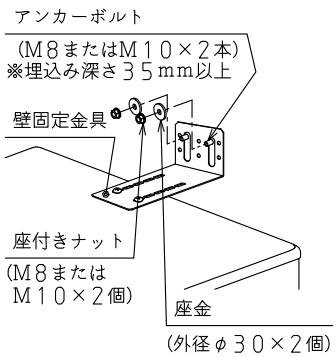
壁固定金具の固定方法

＜1缶式の固定＞

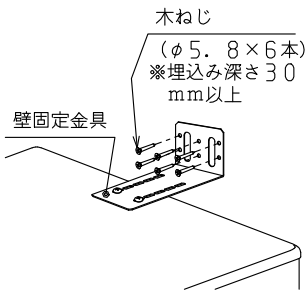
●壁固定金具（別売品）は下図の位置に取り付けることができます。
（〖貯湯ユニット屋内形の場合〗本体に1個付属されています。）
●壁固定金具は、貯湯ユニットの上面板に固定してから壁面に取り付けてください。
●アンカーボルトまたは木ねじの合計引張耐力は、3．6kN以上にしてください。（壁固定金具を取り付ける壁は、引張耐力4kN以上耐える壁や桟を設けてください。）



＜アンカーボルトで固定する場合＞



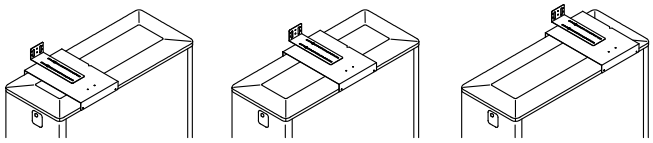
＜木ねじで固定する場合＞

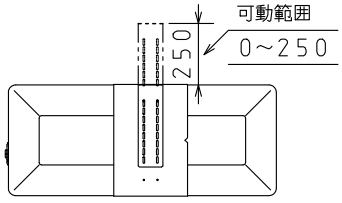


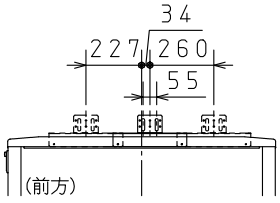
＜2缶式の固定＞

●壁固定金具（別売品）は下図の位置に取り付けることができます。
（〖デザインタイプ場合〗前方と中央のみ取り付け可能）
●アンカーボルトまたは木ねじの合計引張耐力は、3．6kN以上にしてください。（壁固定金具を取り付ける壁は、引張耐力4kN以上耐える壁や桟を設けてください。）

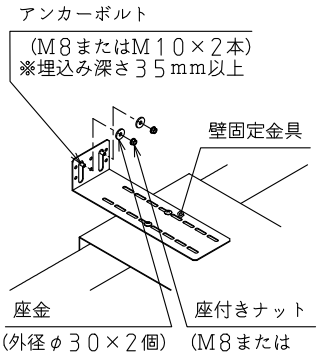
＜前方に取り付ける場合＞　＜中央に取り付ける場合＞　＜後方に取り付ける場合＞



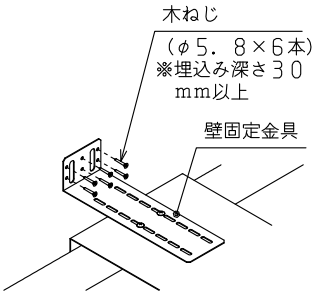




＜アンカーボルトで固定する場合＞



＜木ねじで固定する場合＞



名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	2026年モデル共用図	
作成日	2026．02．25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面	5
尺　度	Free	単　位	mm			

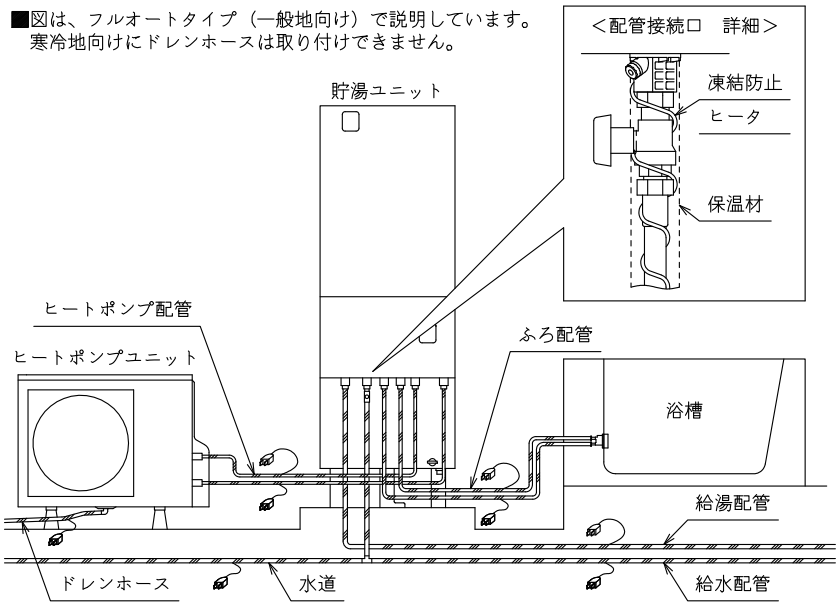
●凍結防止工事

●保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。凍結により機器や配管が破損するおそれのある場合は、凍結防止ヒータを取り付けてください。
●凍結防止ヒータは凍結のおそれがある配管・止水栓および配管接続口等全てに施工してください。
凍結防止ヒータは配管に直接取り付け、その上に保温材を巻きます。

推奨品	凍結防止ヒータ： ㈱TOTOKU製　NFオートヒータ （自己温度制御型）

※一般市販のサーモスタットタイプは温度誤検知のおそれがあります。
●本機はヒートポンプ配管の凍結予防機能が付いていますが、冬期に電源を切ると凍結予防運転は行いませんので、長期間不在などで電源を切る場合には凍結防止ヒータを取り付けてください。
●ふろ配管は、循環ポンプによる凍結予防運転を行いますが、凍結防止ヒータも取り付けてください。
●凍結防止ヒータ用のコンセントを適切な位置に設けてください。
●冬場に風の強い地域や山間部等の特に凍結のおそれがある地域については、脚カバー（別売品）を取り付けて配管に風が当たらないようにしてください。

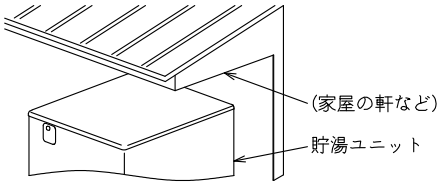
■図は、フルオートタイプ（一般地向け）で説明しています。
寒冷地向けにドレンホースは取り付けできません。



●積雪地域に据え付ける場合

①貯湯ユニット

●〖貯湯ユニット屋外形の場合〗積雪地域では、貯湯ユニットに小屋がけをして、降雪および屋根からの落雪を防いでください。



②ヒートポンプユニット

＜一般地向けの場合＞
●積雪地域では、落雪から機器を保護するため防雪屋根を設置するか、軒下などに据え付けてください。
また、降雪や除雪により雪が空気吸込口や吹出口をふさいだり、入らないよう高置台の上に据え付けるなど防雪対策を実施してください。
●高置台はコンクリート製基礎または簡易基礎の上に据え付けてください。
●防雪カバー（別売品）を取り付けてください。また、防雪カバーを取り付けた場合でも、高置台の上に据え付けてください。

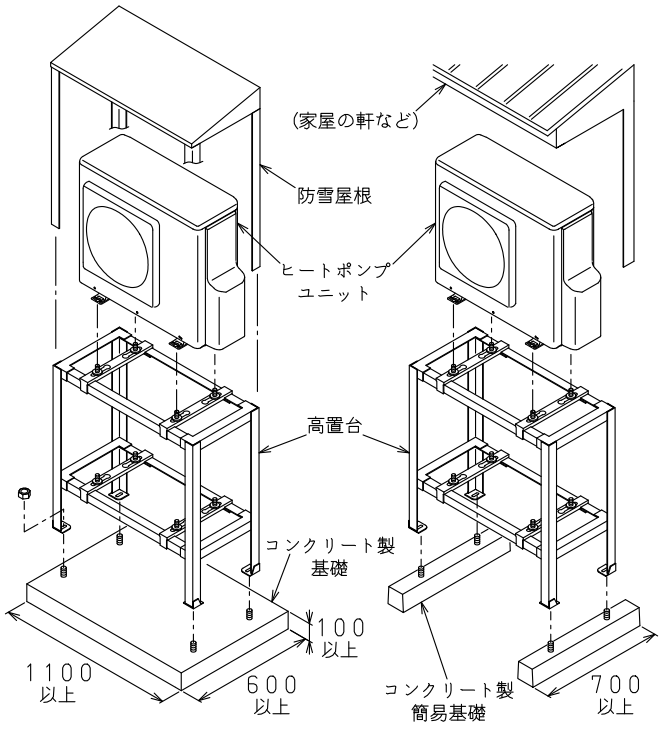
＜寒冷地向けの場合＞
●高置台を使用して、水平に設置してください。降雪や除雪により空気吸込口や吹出口をふさがれると沸上げ不良や故障の原因になります。
●高置台は十分な高さのあるものを使用してください。ヒートポンプユニットのドレン口からドレン水が出ます。冬期はドレン水が凍結し、下から氷柱となりドレン口をふさぎ、故障の原因になります。
●防雪カバー（別売品）、防雪屋根を取り付けてください。
●落雪する場所への据え付けは避けてください。

＜一般地向け・寒冷地向け共通＞
●高置台はアンカーボルト（M10）で固定し、転倒防止をしてください。

推奨品	高置台： 日晴金属㈱製　キヤッチャー C−WG−L，C−WZJ−L2　相当品 防雪屋根＋高置台： 日晴金属㈱製　キヤッチャー C−RZJ−L2　＋　C−WZJ−L2　相当品

＜お願い＞
●2階以上で防雪対策として高置台を使用する場合は、高置台自体を設置面に固定してください。
●ヒートポンプユニットの質量（約60kg）に十分耐える高置台を使用してください。

＜防雪屋根を設置する場合＞　＜防雪屋根を設置しない場合＞



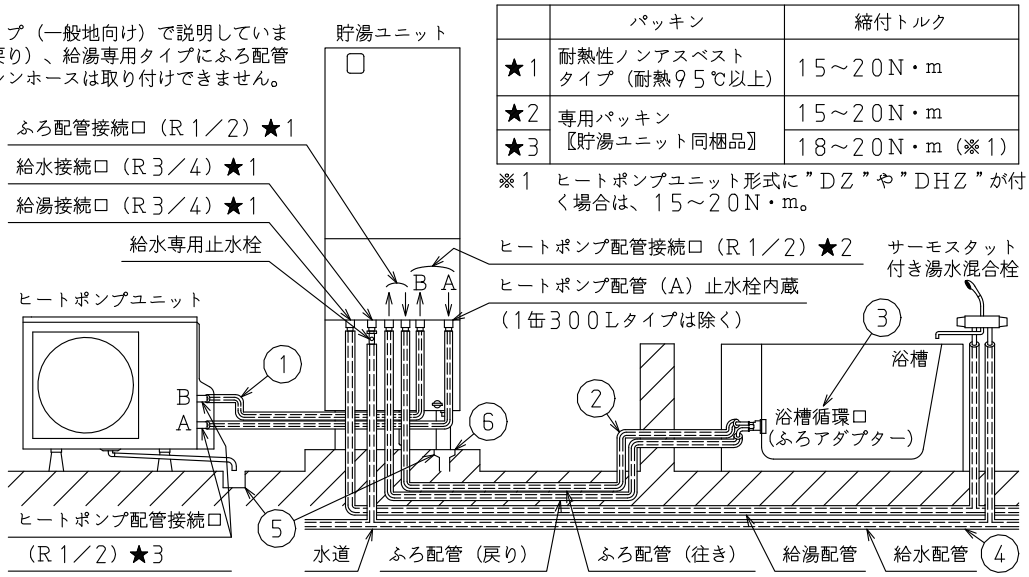
名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機			型　式　名	2026年モデル共用図		
作成日	2026. 02. 25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面	6	
尺　度	Free	単　位	mm				

◍配管工事（標準施工例）

■本ページは、1缶フルオートタイプ（一般地向け）で説明しています。オートタイプにふろ配管（戻り）、給湯専用タイプにふろ配管はありません。寒冷地向けにドレンホースは取り付けできません。

●上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する配管破裂による水漏れの原因となります。
●給水専用止水栓（給水接続口が樹脂製のものはナット付き）をお客様が操作できる位置に取り付けてください。
●〖1缶300Lタイプの場合〗逆止弁の内蔵されていない湯水混合栓を1ヵ所でも使用する場合は、給湯配管用の逆止弁付き止水栓を取り付けてください。

指定品	（UIB−X22）
耐熱仕様	80℃仕様



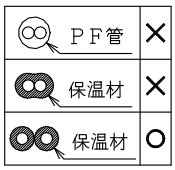
●樹脂製配管接続口へ配管を接続する際のパッキンと締付けトルクは下表に従ってください。（シールテープは使用不可）

	パッキン	締付トルク
★1	耐熱性ノンアスベストタイプ（耐熱95℃以上）	15〜20N・m
★2	専用パッキン〖貯湯ユニット同梱品〗	15〜20N・m
★3		18〜20N・m（※1）

※1　ヒートポンプユニット形式に”DZ”や”DHZ”が付く場合は、15〜20N・m。

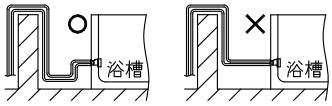
①ヒートポンプ配管

●貯湯ユニットとヒートポンプユニットのA−A、B−Bの記号を合わせて接続してください。
●配管は必ず指定サイズを使用してください。指定外サイズを使用すると沸上げ性能低下や電気代が増える原因になります。
●フレキ管を使用しないでください。
●ペアチューブは使用せず、必ず独立した配管としてください。（ペアチューブは配管同士で熱交換されヒートポンプ性能が発揮されません。）
A側・B側それぞれ独立した配管とし、放熱を防ぐ保温材を巻いてください。（保温材厚みは一般地向けは10mm以上、寒冷地向けは20mm以上）



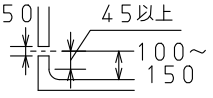
②ふろ配管

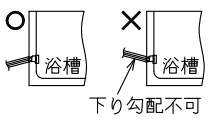
●鳥居配管の場合は、ふろ配管を浴槽循環口（ふろアダプター）より低く配管してください。



③浴槽の穴あけ工事

●浴槽の穴は、底面から100〜150mmの位置にあけてください。推奨値を外れた場合は、不具合が起こる可能性があります。また、浴槽形状により位置が変わる場合があります。
●穴径のセンタは浴槽底面の曲がり終了位置から45mm以上確保してください。
●〖フルオートタイプの場合〗指定の無極性の浴槽循環口を使用してください。〖オートタイプの場合〗指定のふろアダプターを使用してください。
●浴槽循環口（ふろアダプター）の施工は浴槽循環口（ふろアダプター）同梱の説明書に従ってください。
●浴槽循環口（ふろアダプター）への下り勾配配管は不可です。
●浴槽循環口（ふろアダプター）の施工後は、漏れ検査治具にて漏れ検査を実施してください。





推奨品	漏れ検査治具（SKJ型金属・樹脂ボディ兼用）：ベストパーツ㈱　H74−3

※指定の浴槽循環口（ふろアダプター）以外には使用できません。

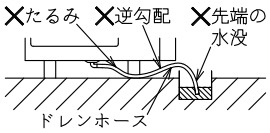
④保温工事

●給水・給湯配管、ヒートポンプ配管およびふろ配管は、厚み10mm以上（寒冷地向けは20mm以上）の耐熱保温材を使用してください。
●埋設配管の場合、給水・給湯配管については凍結防止のため、凍結深度まで保温工事をしてください。

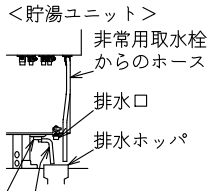
⑤ホースの取りまわし

＜ヒートポンプユニット〖一般地向けのみ〗＞

●沸上げ中に出る結露水を確実に排水するため、ドレンホースは必ず下り勾配にしてください。たるんでいたり逆勾配にすると、砂やゴミが詰まって水漏れや内部劣化の原因になります。
●ドレンホースは排水口空間を設けた間接排水とし、ホース先端は水没させないでください。
●ドレンホースは他の排水管と合流させることなく単独で配管してください。逆流のおそれがあります。



＜貯湯ユニット＞

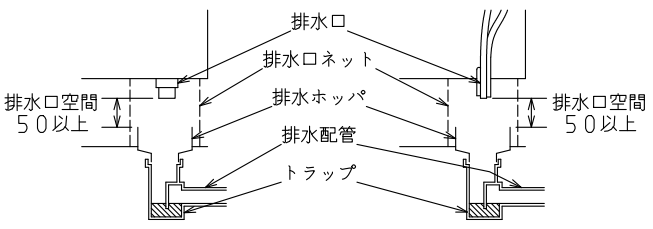


〖貯湯ユニット屋内形、耐塩害・耐重塩害仕様、寒冷地向け、1缶300Lタイプの場合〗ドレンパン排水口に市販のドレンホース（φ16）を取り付け、排水ホッパへ導いてください。

⑥排水配管工事

●沸上げ中に貯湯ユニット内のお湯が膨張し、その膨張分が排水口より出ますので、必ず排水工事を行ってください。
●口径φ80以上の排水ホッパや排水トラップおよびφ50以上の排水配管を使用してください。（90℃以上の耐熱性・耐食性を有するもの）
●排水ホッパと排水口の中心位置を確実に合わせてください。
●排水配管には害虫侵入や臭いもれ防止となるような機構を設けるか、排水トラップを設けてください。封水構造になっていないと臭気や腐食性ガスが上がり、本体・配管が腐食、損傷します。
●排水ホッパを設けたときは、点検可能なトラップを設けてください。
●排水ホッパにゴミが入らないように、また、排水口からのお湯に手を触れないように、排水口と排水ホッパとの隙間を耐熱性を有するネット等でおおうか、脚カバー（別売品）をご使用ください。
●排水口と排水ホッパの排水口空間は50mm以上確保してください。排水ホッパが排水口の下に設置されていない場合でも必ず排水口空間を50mm以上確保してください。排水ホッパの中に排水口が入っていると、貯湯ユニット内が負圧の時、汚水が逆流して貯湯ユニットへ流入するおそれがあります。

＜1缶式の場合＞　＜2缶式の場合＞



名　称	自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機	型　式　名	2026年モデル共用図

作成日	2026. 02. 25	版　数	1	株式会社 コロナ	納入仕様図面	7
尺　度	Free	単　位	mm			